

参考文献

- 1) 田辺誠、平山弘、「Fortran90 プログラミング」共立出版株式会社、2001 年
- 2) 山地秀美、「Visual C++ 6.0」技術評論社、平成 12 年
- 3) ローラ・ドラクスラー、白根健司訳、「Visual C++ & MFC の研究」(株)プレ
ティスホール出版、1998 年
- 4) David j. Kruglinski 著、榊正憲・梅原系共訳、「ISIDE VISUAL C++ Version 4」
アスキー出版、1996 年
- 5) Aaron Coben, Mike Woodring 共著、鈴木慎司監訳、金森玲子訳、「Win32/C++ マ
ルチスレッドプログラミング詳説」オーム社、1999 年
- 6) Fred Pandolffi, Mike Oliver, Michael Wolski 共著、スリーエーシステム訳、
「Visual C++ MFC バイブル」、(株)翔泳社、1997 年、10 月
- 7) 住吉 乱、「Visual C++ 逆引き大全」、(株)秀和システム、2003 年 5 月
- 8) ビック・プロカード、郡司芳昭訳、「MFC プログラミング技法」、(株)プレ
ティスホール出版、1998 年 8 月。
- 9) プラストック・カレイ、郡山彬訳、「コンピュータグラフィックス」、マグロー
ーヒル株式会社、1987 年
- 10) David E・Rogers、J Alan Adams、川合慧監訳、「コンピュータグラフィックス」、
日刊工業新聞社、1983 年

あとがき

マニュアル：プレゼンター作成入門編は、如何でしたでしょうか。入門書とはいいいながら、Visual C++でプログラムを作成した経験がない方には、理解し難い本になっていると思います。まずは、VC++に関する参考書で、ウインドウズに関するプログラミングを勉強し、経験を積んでください。その後にこのマニュアルを読めば、多くの図形処理やウインドウズ管理、あるいはアニメーションの知識が容易に吸収されるはずです。ここで得た知識を元に、プレゼンターのマニュアルを読みこなすことができます。プレゼンターの中身を十分に理解することで、さらに多くの知識が得られることになるでしょう。

新たにウインドウズ用のプログラムを作成する場合、あるいはSPACEのプレゼンターをさらに改良する場合、このマニュアル：プレゼンター作成入門編が少しでも役立てば幸いです。

2004 年 10 月 1 日

村田 賢